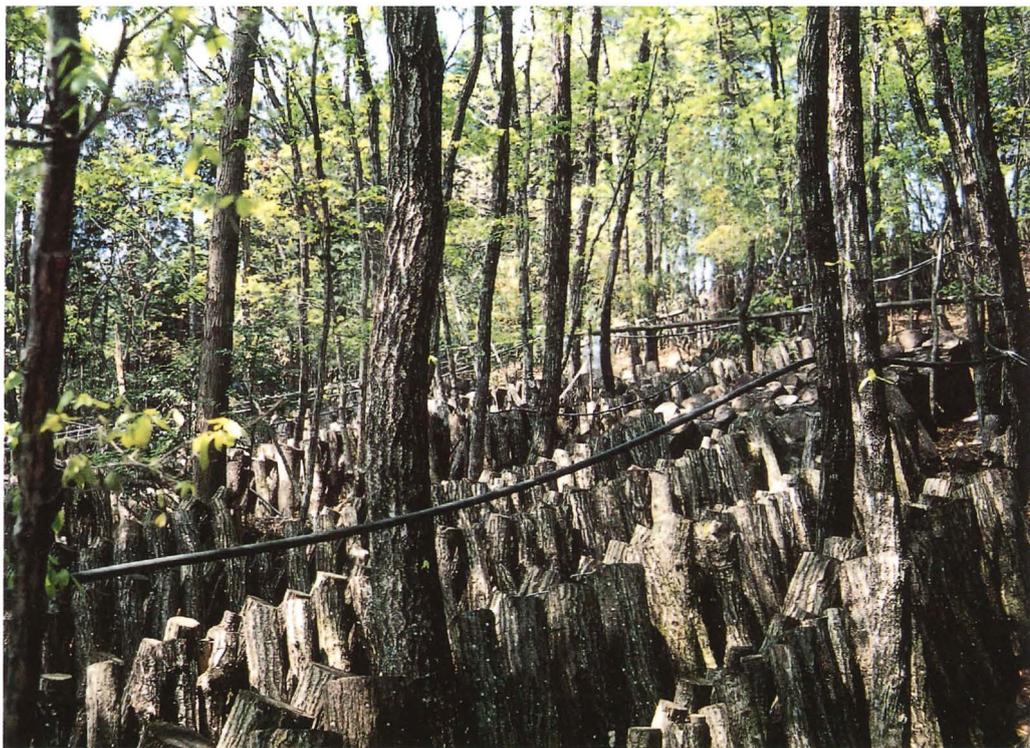


しいたけ全盛期から16年

「栗としいたけと天魚の村」とキャッチフレーズで言っていたしいたけも昭和五十六年の乾しいたけ生産量九十五tを最高に年々減っており、現在は、二十二tとなっています。

県内では、マツクイムシの被害によりしいたけ生産に最も適していた松林が使用できなくなり、それに従い、しいたけの品質の低下が叫ばれて来まして、高品質なしいたけを生産する為には、明るい雑木林を使ったり、杉・松林を利用する場合は枝打ち・間伐を十分に行わなくてはなりません。

また、近年の異常気象の中でのしいたけ作りには、散水施設、防風垣の設置も欠かせないものとなっております、しいたけの生産には、ほだ場が重要なポイントになっています。このような中、えひめフォレストフェスタ'97が開催され、本村、北平の山本明氏がほだ木育成の部で農林水産大臣賞を、同じく、河辺村森林組合が林業功労表彰を受賞されました。落ち込んでいる河辺村の林業に光を差すものであり、振興に一層の尽力、指導を期待したいと思えます。



見事に整理されたほだ場 (山本 明氏所有)



'97 7月

発行
河辺村公民館

☎ (0893) 39-2111
内線 205・206

佐川印刷 KK
吉田町北小路
☎ (0895) 52-0600

人のうごき

(平成9年7月1日現在)
世帯数 537戸
男子 700人
女子 718人
計 1,418人

H8.7.1現 1,455 (△37)
H7.7.1現 1,500 (△82)
H6.7.1現 1,531 (△113)
H5.7.1現 1,574 (△156)
H4.7.1現 1,639 (△221)

やねばし

「ストレス」最近よく耳にする言葉の代表ではないでしょうか。物理的ストレスと心理的ストレスの二種類に分けられます

が現代社会では、特に人間関係によるものとして心理的ストレスが大半を占めています。

私達現代人は都市環境のなかに生きていますし、多くの人と関わって生活しています。誰でもストレスを抱えていて、ストレスの蓄積に伴う疾患を併発することも少なくありません。もはやストレスの原因を排除して生活していくことはできないのです。

そこで大切なことは、ストレスといかに上手につき合っていくか、つまり「ストレス・コントロール」のコツを身につけることだ!!と、ある心理カウンセラーに聞きました。その一つは普段からストレスに対する抵抗力をつけること、次に入浴をしたり音楽を聴いたりして心のゆとりを持つこと、最後にいやなことがあった時に素早く気分転換をするか。医薬療法で解消できない特効薬を自分自身で開発し心身の健康増進を図りたいものです。

(K)

六月定例村議会

去る六月二十日、平成九年第二回河辺村議会定例会が招集されました。

全議員出席のもと、梅木議員の一般質問に引き続き、村長提案の報告二件、議案十三件が慎重審議のうえ可決承認されました。

同意案件では、岡林寛氏を固定資産評価審査委員会委員に選任することが同意されました。

また、議員提出の郵政事業・分割民営化に反対する意見書が原案のとおり決定され、遺伝子組み換え食品の表示と輸入禁止を求める請願は不採択とされました。

なお、一般質問の主なものは、次のとおりです。

一般質問 (抜粋)

梅木加津子議員

①農林業会社について
アンケートの結果とその後

の対応・対策についての村長のお考えをお聞かせ下さい。

〔村長答弁〕

アンケート回答者の中で会社設立の賛成者が六八%、反対者が三十%、その他二%という結果でありました。

去る六月十六日に、農林業会社設立検討委員会を開催し、アンケート結果等について検討していただきました。各委員さんのご意見では、本村の農林業の振興に会社の設立は不可欠なものであると全委員一致いたしました。

今後、農林業会社設立委員会を、設立準備委員会に切り替え、規模や内容等の検討をするため、早急に準備委員会を開催し、鋭意努力してまいりたいと存じます。

②河辺村高齢者福祉計画について
平成十一年まで後二年に迫

りました。河辺村の福祉計画の到達点を明らかにし、残りの事業について明らかにして下さい。

〔村長答弁〕

ソフト事業につきましては、河辺村老人保健福祉計画に基づき目標達成に向け順次進めております。

ハード事業につきましては、平成十年に特別養護老人ホームが完成致します。

この施設整備で、河辺村老人保健福祉計画に掲げております、在宅介護支援センター、デイサービスセンター、シヨートステイを併設いたしますので、計画どおり事業は完了するものと考えております。ただし、老人専用住宅については、今後、必要に応じて検討いたします。在宅福祉の問題ですが、在宅で介護していただくのが一番理想でありこのことについては、ソフト面、ハード面の両面について、これから十分検討をしてまいりたいと思えます。

福祉対策について

合併処理 浄化槽設置 補助について

河辺村では、生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱を今年度制定致しました。

この事業は、合併処理浄化槽を設置しようとする人に対して、予算の範囲内で補助金を交付する事業です。ただし、合併処理浄化槽と単独処理浄化槽の本体工事部分の差額についての補助であり、浄化槽設置全体の補助ではありません。

合併処理浄化槽とは、し尿と雑排水(台所・洗濯場・浴室等から流される排水)を併せて処理する浄化槽のことであり、し尿だけを処理する単独処理浄化槽は、この事業の対象外です。

補助対象は、家の新築・改築等で合併処理浄化槽を新規に設置する場合、又、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に変更する場合に限り、農業集落排水施設整備計画区域《植松・川崎・神納》を除く河辺村全域で補助が可能となります。補助限度額は、五人槽の場合三十万九千円。六人槽の場合四十六万三千円。八人槽の場合八十二万四千円です。人槽の決定は、建物の面積に応じて決まっております。

この補助を受けようと思われる方は、事業を行う前年度までに補助金交付申請書に、事業計画書・建築確認通知書・設置場所位置図・収支予算書・見積書の写し等の書類を添付して、役場まで申し込みをして下さい。

尚、この事業について詳しくお知りになりたい方は、役場福祉課までご連絡下さい。交付要綱をお渡しし、担当者が詳しく説明致します。

診療所だより

《食中毒について》

日本特有の梅雨を代表とする高湿な夏は、食中毒の多い季節です。わが国の食

中毒の90～95%は細菌性食中毒といわれるもので、原因菌としては腸炎ビブリオ(魚介類に多い)が半数を占め、ほかにブドウ球菌、サルモネラ菌などが一般的です。病原性大腸菌による食中毒は、これまでせいぜい全国で20～30件程度でしたが、平成8年のO157による患者は年間九、四五一名(うち死者12名)に増え、今年も流行の兆しを見せています。

◆ ◆ ◆
O157は潜伏期が4～8日と長い。ため感染経路が見つけにくく、他の食中毒の発症に必要な菌数の数千～数万分の一(わずかに100個程度)で発症し、人から人への二次感染も多い。ため大流行を起こしやすいといわ

れています。また他の病原性大腸菌にはないベロ毒素(赤痢の毒素によく似た神経毒)を作り、腎臓や脳をおかします。

◆ ◆ ◆
食中毒の一般的な症状も、急に始まる嘔吐、下痢、腹痛、発熱などですが、O157は、①たが重なる水のような下痢、②激しい腹痛、そして③赤ワインに似た血便が特徴的で、時には尿毒症を起こし重症になります。

◆ ◆ ◆
従来の食中毒でもO157でも、予防はいかにして菌が口の中に入るのを防ぐかにつきま。まさに税関の「水際作戦」と同じです。食材ごとにまな板を洗ったりするのはたしかに大変ですが、水道水に含まれる塩素には意外に殺菌力があるのです。

◆ ◆ ◆
「万が一、食中毒になったら」と考えて、梅雨から夏にかけては特に食材の「水洗い」を心がけて下さい。ただし、必ず水道の流水下で洗うようにして下さい。井戸水やため

た水では、案外、細菌が繁殖していることが多いので注意です。そして、調理後はすぐに食べることで。食品を保存する場合は必ず10℃以下に冷蔵するか、零下15℃以下に冷凍して、食前に再加熱して下さい。ただし、冷蔵冷凍によって細菌が死ぬわけではなく、(冷蔵庫内でもカビがはえるのと同じに考えて下さい)過信せずに早めに食べてしまうようにしましょう。

年金ワンポイント

年金額は据え置きになりました。

国民年金や厚生年金保険の年金額については、全国消費者物価指数(以下「物価指数」という)の変動に応じて改定する、「物価スライド」制度がとられています。

平成九年度においては、平成八年の物価指数は対前年比で〇・一パーセントの上昇と

なっておりますが、平成八年度において平成七年の物価指数が対前年比で〇・一パーセント下落したにもかかわらず、特例措置により物価スライドは行わず平成七年度の年金額と同額に据え置いたため、平成九年度の物価スライドによる年金額の改定は行われません。

このため、物価スライドがあった場合に、その年度の五月中旬に年金受給者に送付されていた「年金改定通知書」は、平成九年度においては送付されておられません。

防災だより

八・九月は、台風のシーズンです。毎年、多数の台風が接近または上陸し、強風と大雨によりたびたび大きな被害を受けています。

◆ ◆ ◆
今年も早くも二つも到来しており数多くやってくるのではないかと予想されます。台風情報に注意し、充分な安全対策を講じておきましょう。

七月十日に鹿児島県で豪雨による山肌崩落で、二十名余の犠牲者が出るという土石流による大災害が発生しており

◆ ◆ ◆
ます。自分の住む地域や家の回りの地形に関心を持ち、危険と感じた時には、早めに避難しましょう。

◆ ◆ ◆
避難場所は次のとおり定めておりますので、最寄りの場所に避難して下さい。

地区名	順位	施設名	電話番号
植松地区	1	河辺小学校	39-2016
	2	老人福祉センター	39-2222
坂本地区	1	農業構造改善センター	39-2810
大伍地区	1	ふるさとの宿	39-2211
	2	河辺中学校	39-2524
北平地区	1	地域活性化センター	39-2812
	2	河辺中学校	39-2524

愛媛県八幡浜地方局庁舎移転のお知らせ

愛媛県では、八幡浜地方局庁舎の移転新築工事を進めて参りましたが、この度完成し、7月7日(月)から新庁舎で業務を開始しておりますのでお知らせします。

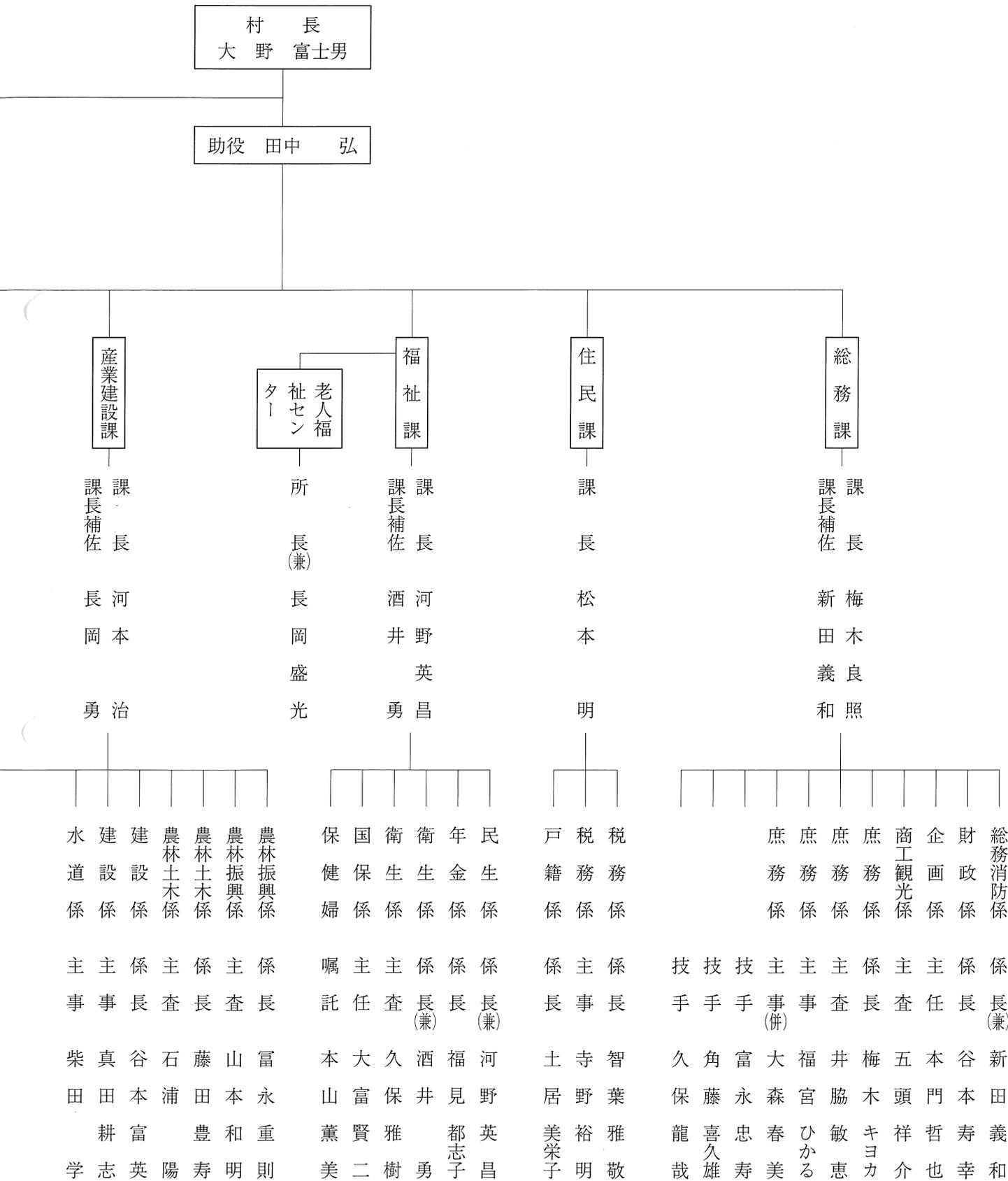
○新庁舎の所在地

〒796 八幡浜市北浜1丁目3番37号

○新庁舎の電話番号 ☎0894-22-4111

組織一覽表

[平成 9 年 6 月 1 日現在]



楽しかった 修学旅行 河 小



地獄めぐりにて

広島県の原爆資料館では、被爆された当時の様子を知り、

二度とこのような戦争を起こしてはならない決心をしました。

福岡ドームでは、平野小学校の人と友達になりました。また、別府の地獄では、旅行されていた人と一緒に写真を撮ったり、撮っていたらだいたりして、あとでその写真をたくさん送っていただきました。知らなかった人とのふれあいもできました。

アフリカンサファリ、高崎山では、自然の中の動物をすぐ目の前で見て動物に対する気持ちも変わったのではないかと思います。

時間をおいて定期的に湯が

吹き出ししたり、煙を吹きつけると湯の表面から多くの煙が出るなど地獄では、自然の不思議なことも知りました。

その他、乗り物、ゲーム、買い物、野球観戦等おおいに楽しみました。

知識の修得、体験だけでなく、このような修学旅行ができたのも、保護者、委員会、旅行会社、運転手、バスガイド、先生等多くの人の支援・協力があつたからだという「感謝の心」があいさつや旅行の反省会に表れていました。児童にとって多くのことを学んだ修学旅行だったと思えます。

総体を終えて 河 中

去る六月三日、心配されていた天気にも恵まれ、三年生にとつては最後の郡総体が行われました。

大会が近づくにつれ、野球部、バレー部共に意気込みは高まり、寸暇を惜しんで練習に励んでいました。それはまわりから見ても「大会当日に疲れが出なければ良いが」と心配するほどでした。

いよいよ大会当日。野球部は、前回の新人選で苦杯を喫した長浜中と対戦し、三一一で勝ち、実質の決勝戦を思わせる好試合でした。しかし準決勝では、脇川中と対戦し、

惜しくも一―二の一点差で敗れてしまいました。またバレー部は、予選リーグで長浜中、脇川中と対戦しました。相手チームに引けを取らない白熱したプレーを展開しましたが、残念ながら敗れてしまいました。

郡総体を通して、生徒達は勝敗よりも、もっと大切なも

のを学んだようです。お忙しい中、応援に来て温かい声援を送って頂き、ありがとうございました。

総体結果

バレー		
河	0 - 2	長
河	0 - 2	脇
野 球		
河	3 - 1	長
河	1 - 2	脇

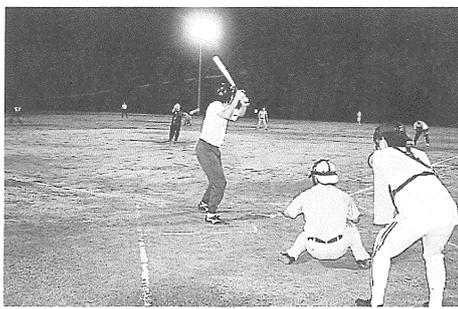
郡陸上競技大会の主な成績

優勝	藤田泰樹 (走高跳 1 m61)
	藤田泰樹 (110mH 18" 7)
	片山権人 (三種A)
	(100m 12" 7)
	(走高跳 1 m47)
	(砲丸投 9 m96)
	浦野亜希 (2年 1500m 5' 58" 7)
第2位	松下 亮 (3年 100m 12" 4)
	松下 亮 (200m 25" 9)
	松下・片山・和氣・藤田 (800m R 1' 47" 9)
第3位	和氣 洋 (走幅跳 4 m73)
	酒井 誠 (三段跳 10m28)
	田中 聡 (200m 26" 5)
標準記録突破者	中野みゆき (走高跳 1 m35)

坂本ソフトも連覇!!

七月十四日から十八日にかけて、河辺中学校グラウンドに於いて、分館対抗ナイターソフトボール大会が行われました。

開会式では、公民館長のあいさつのもと、教育長より激励の言葉を頂き、昨年度優勝の坂本分館の新田春夫選手の堂々とした選手宣誓で試合が開始されました。各分館とも、梅雨による雨のため、ほとんど練習ができなかった状態での試合開始でした。そのためか、ホームラン数は昨年と比べ減りましたが、その分珍プレーが続出し、会場を笑わせました。試合は、どの試合とも熱戦が繰り広げられ、最終



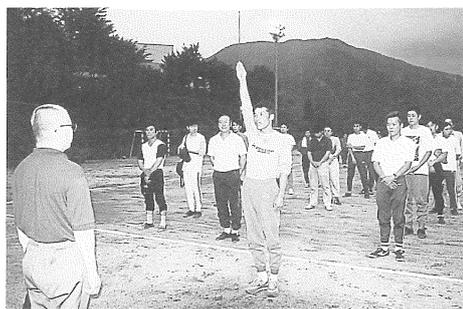
熱戦が繰り広げられました

日まで優勝チームが分からない実には白熱したゲーム内容が展開されました。好プレーも随所に出、試合を一層引き締めました。

その結果、坂本分館が植松分館を押さえ、二年連続の優勝を果たしました。選手の皆さんお疲れ様でした。

来年は、打倒坂本で燃えるよう練習日が晴れることを祈りましょう。

今月号のふるさとに望むは都合によりお休みさせて頂きます。次号をお楽しみに。又、村出身執筆者を募集しています。詳しくは公民館まで。



堂々とした選手宣誓で開幕

坂本アベック二連覇!!



ナイスカバー!!

六月十五日(日)、午前九時より河辺中学校体育館に於て、分館対抗バレーボール大会が開催されました。九年度最初の分館対抗競技とあって、分館それぞれに熱の入った練習からの参加となりました。開会式では、開会あいさつに続き、教育長さんから激励の言葉を頂き、昨年度アベック優勝を果たした坂本分館の久保雅樹、奥平美香江選手のユニークな選手宣誓のあと、試合を開始しました。試合内容は、男子が淡々と試合を消化していくのと対照的に女子の方は白熱したゲーム展開となり、午前中、男子試合数四に対して、



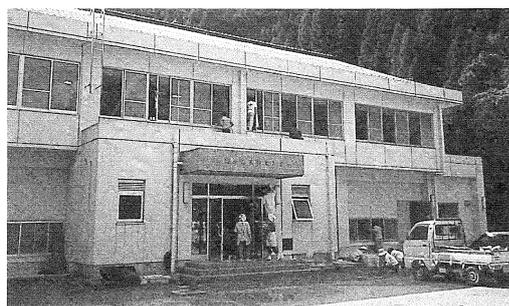
カップと一緒にハイチーズ

女子とのゲーム差、一・五と試合のひらきがありました。そして、午後からの試合、女子については、試合間の休憩を短縮して実施してもらい、何とか予定の時間を少し過ぎて終了することができました。このようなハードな時間配分だったにもかかわらず、ケガ人が出なかったことは、日頃の村民の体力づくりの成果と感謝しています。試合結果は、圧倒的強さを見せつけた坂本分館が昨年に引き続き、男女アベック優勝を果たしました。おめでとうございます。右の写真は、坂本分館の慰労会の写真です。用意された飲み物がすべて無くなるのは事かきませんでした。

施設清掃に汗

六月二十九日(日)、村内各地区において婦人会、中学生、分館役員合同の公共施設清掃が行われました。台風八号四国接近が心配されていましたが、恵みの雨を降らせて通過しました。

当日は日差しも強く、動いていると汗が流れてくるほどです。施設のまわりの草刈り、草引き、道路等に投げすてられている空き缶ひろい、施設内のガラスふきや床みがき。一生懸命清掃した公共施設



きれいになりました

ですから、皆さんも気持ち良く使えるよう日頃から心がけていただきたいと思います。ご苦労様でした。

青年環境美化に一役



いい汗が流せました

六月八日、村振興青年会議(真田耕志議長、男十七名、

女三名)の奉仕活動が行なわれました。農業構造改善センター周辺の草かりと、県道のアキカン拾いを実施したもので、当日は十三名の参加を得、河辺村の環境美化に努めました。アキカン拾いは、昨年の十月来のものでしたが、やはりゴミ袋八袋にも及び、今だ直らないポイ捨ての多さに驚きました。環境美化は日頃の一人一人のマナーでいくらかは改善されるものです。アキカン拾いをしなくても済むようなきれいな村づくりに努めたいものです。

道路はみんなのもの

七月六日、村内一斉に村道・農林道を中心に道路愛護一日奉仕作業が行われました。

多くの村民の方に奉仕作業に参加いただき、暑い中草刈り及び側溝の清掃が行われました。道路等がきれいになり、車が安全に通行でき、大変感謝しております。道路は、日常生活に欠かせない重要なものなので、大切に利用してください。

今後とも村民の方々のご尽力を賜り道路行政の推進を図っていきたいと思います。簡単ではございますが、道路愛護一日奉仕作業のお礼にかえさせていただきます。おつかれ様でした。



道に感謝!!

イベント情報

☆ふるさと祭り

八月十五日(金)

場所 ふるさと公園

内容 ・夜市 ・カラオケ

・納涼盆おどり

・歌謡ショー・花火

☆前夜祭龍馬を語る夕べ

九月十三日(土)

会場 ふるさとの宿

内容 講演「薩長同盟の真相」富成博先生

☆わらじで歩こう

坂本龍馬脱藩の道

九月十四日(日)

集合 ふるさと公園

内容 ・脱藩の道オンリー

コース・浪漫八橋と

脱藩の道コース

☆溪流つり大会

十月五日(日)

会場 ふるさとの宿付近

☆健康文化フェスティバル

十月十九日(日)

会場 基幹集落センター他

内容 ・文化協会発表

・バザー ・展示コーナー

・ナレー ・講演 医学

博士 松原英多先生

☆三杯谷の滝まつり

十一月九日(日)

会場 三杯谷の滝付近

内容 ・カラオケ・キジ鍋

食べ放題・もちまき

クローケーで仲間づくり

七月一日、ふるさと公園に於て河辺村長杯クローケー大会が行なわれました。

ふるさと公園の芝生も生え揃い、ゴルフには最適と考えられますが、地面を転がすクローケーには不適のようで、芝目が読めず、苦勞された選手もいたようです。それでも、日頃から練習を積んでいる選手にとつては、関係なく、きちんと芝目を読み、長い距離でのタッチもあり、好プレーが続きまし

た。その熱戦を制したのは以下のチームです。
おつかれ様でした。
Aブロック 大伍クラブ
Bブロック 植松クラブ



芝生で苦戦？

同和教育シリーズ

(64)

“同和教育の新たな出発”

昭和四十年同和对策審議会の答申により、同和教育の解決が国民的課題とされ行政の責務として国をあげて同和教育に取り組むことになり、昭和四十四年同和对策事業特別措置法を制定同和对策事業を進めて参りました。

この法律はその後、地対財特法(略称)と名称を変えながら同和教育を行って来まし

短

歌

年ゆけば何ののぞみももてずただ

一日一日を過すのみなり

貧しさの戦後ぞだてし児らの顔

幼きままに夢に頭ちくる

真夏日と思えるほどの梅雨晴れに

蝉の鳴く声ふと聞き初むる

文月に露地埋め咲く紫陽花を

道ゆく人ら足とどめ見る

何時みても負数なくし困り果て

五十年経たるに軍隊の夢

いま一度会いたき友の尋ねくる

わが病床の小春日の午後

大西ミツマ

戸田 薫明

谷本 愛子

清水 孝

佐伯 範男

関井恵美子

禁煙のお知らせ

河辺村では、七月一日より、会議・研修会等開催中に限り禁煙と致します。ご協力をよろしくお願ひします。

消息

自 9・5・11
至 9・7・10

☆お誕生おめでとう

森川龍太郎 (下大成) 父 龍治 母 宏美

吉田 将大 (横山中) 父 満 母 さなえ

☆おおくやみ申し上げます

岩本 定男 (竹の瀬) 78歳